

第7学年 社会科学習指導案

1 単元名

世界の諸地域「アフリカ州」

2 単元計画

時	学習内容	ＩＣＴ
1	地形図や雨温図を活用した作業を通じて、アフリカ州の地形や気候についての情報を適切に読み取り、まとめる。	 資料提示 プレゼンテーションソフト
2	アフリカ州とヨーロッパ州との関係についての資料から、アフリカ州の植民地支配に関して、関心を高める。	
3	統計資料から、アフリカ州の産業の特徴について知り、モノカルチャー経済とアフリカ州の開発に関する知識を身に付ける。	
4・5	アフリカ州の開発と課題に関する資料を読み取り、情報を適切にまとめることによって、アフリカ州の課題について関心を高める。	
6(本時) ・7	アフリカ州の課題に関するダイヤモンドランキングを通じて、多面的・多角的にアフリカ州の課題について考察し、その考えを表現する。	

3 「小中一貫教育」を通して、具体化する視点

(1) 指導内容の「系統性」

「地理的環境と人々の生活」に区分される内容として、第3学年では身近な地域や区の様子を扱った。第4学年では、東京都の地理的環境の概要について理解させるとともに、都内の特色ある地域の様子についても理解させる。第5学年では、我が国の国土の概要や特色を扱うとともに、国土の地形や気候についても扱う。さらに、地形や気候において特色ある地域の人々の生活についても学習する。第6学年では、我が国と経済や文化などの面でつながりの深い国々について学び、中学部での地理的分野における世界の諸地域や世界各地の人々の生活と環境の学習につながるようにする。そして、中学部では、日本の諸地域の地域的特色を学ぶだけでなく、世界の各地域の特色について学ぶ。

(2) 指導法の「連続性」

- ①小学部の「地理的環境と人々の生活」の内容では、事例地の地形や気候の特色を捉えるだけで終わらず、その特色に合わせて人々が生活していることに気付かせている。それゆえ、中学部でも各地域の学習を進める際に、その地域の人々がその環境と密接な関わりをもって生活していることを気付かせ、考えさせている。
- ②「どのように広がっているのか」(位置・空間的な広がり)、「どのように変わってきたのか」(時期や時間の経過)、「どのようなつながりがあるのか」(事象や人々の相互関係)を問うことを繰り返していくことによって、社会的な「見方・考え方」を働かせて学びを深められるようにしている。
- ③話合い活動を行う際に、活動の前にまず個人の考えをもたせることにより、より多角的に考えられるようにする。
- ④授業におけるＩＣＴ活用を資料提示、資料の読み取りや試行錯誤するための道具として位置付けた。そして、自分の考えを書く活動や振り返りを行う際、考えるための手立てとしてタブレットＰＣを活用した。つまり、じっくりと書くのは従来通りノートやワークシートを使用するというように、社会科の授業におけるＩＣＴの役割を共通して位置付けた。

4 本時（7時間扱いの6時間目）

(1) I C T 活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い合わせ
学習活動	見通しをもつ		互いの考えを比較する	自己の変容に気付く
タブレット PC				

(2) 展開

学習内容・活動	・指導のポイント ★評価
1 前時を振り返り、本時のめあてを知る。	<ul style="list-style-type: none"> 前時で作成した自分のダイヤモンドランキングを振り返らせ、そのランキングにした理由を明確にさせる。 最上位と最下位の選択肢について、その判断基準を説明できるようにする。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ダイヤモンドランキングを通じて、アフリカ州の課題を考えよう。</p>
2 グループになり、なぜ自分がそのランキングにしたのかの理由を説明する。	<ul style="list-style-type: none"> タブレット PCを見せながら説明させることにより、視覚的に相手に伝わるようにさせる。
3 グループで、ダイヤモンドランキングを作成する。	<ul style="list-style-type: none"> 「正解がない」一方で、自分たちが「最適解」と考えるランキングづくりであることをおさえる。 すぐに決めることがよいのではなく、時間内で十分に自分の意見が言え、考えを検討することに価値があることを伝える。 話合いを通じて、感じたことや考えたことを書くことで、自分の考えを問い合わせさせる。 <p style="text-align: right;"><問い合わせ></p>
4 各グループの発表を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> 自分やグループの考えと違うところ、つながるところなどをメモさせる。
5 個人で再度ダイヤモンドランキングを作成する。	<ul style="list-style-type: none"> タブレット PCの画面を参考にしながら、ランキングを改めて作らせることによって、自分の考えの変容を自覚させる。 <p>★アフリカ州の課題について関心を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。</p>